

令和元年度 算数科授業の略案 (3年A組)

月日 (校時)	単元名	教材名
9月11日 (水) 2校時	大きい数のしくみ	1000より大きい数を調べよう
本時のねらい 本時 (7/10) ○ 数の構成を多面的にとらえ、数の見方を豊かにする。		
評価規準 [考] 数の構成を基に、数の多様な見方について考え、表現している。(発言・ノート・観察)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	キーワード 留意事項・評価
【導入】 9:20	○前時の学習のまとめ、振り返りをペアで伝え合ひましょう。	・前時の学習の振り返りをする。
【展開】 問題提示 9:22 見通し 課題把握 9:27	16000はどんな数ですか。 たくみ ○問題を見て聞かれていることや求め方を考えましょう。 ・前時のように等号や不等号で表すことができる。 ・数直線を使って考える。式や言葉で表せる。 ・数の成り立ちを考える。 2 課題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 16000を、いろいろな言葉や式、数直線で表し説明し合おう。 </div> シラバス：(一人学び(8分)・班学び(6分)・学び合い(10分)・まとめ(3分) ・振り返り(8分)・適用問題(3分)) 言語わざ：「～と考えました。説明すると～」 キーワード： <ul style="list-style-type: none"> <li style="margin-right: 10px;">・□より□小さい数 <li style="margin-right: 10px;">・□より□大きい数 <li style="margin-right: 10px;">・等号(=) <li style="margin-right: 10px;">・□と□を合わせた数 <li style="margin-right: 10px;">・□を□こ集めた数 <li style="margin-right: 10px;">・不等号(<・>) 	・既習の数の構成や相対的な大きさを基にして表すよう促す。 ・数直線を有効に活用できるように促す。 ・「たくみさんの見方」を提示して考えさせる。 ・ハンドサインチェックを行い、見通しが立つようにする。 ・それぞれの見方を数直線で解釈し説明できるように促す ・考え方が分からない児童は、友だちの考えを自由に見に行くように伝える。 ・グループの手引きを見ながら、話し合いをさせる。
自力解決 集団解決 ・班学習 ・全体学習 1:50	3 一人学び ○6000の表し方について、これまでの学習をもとに考える。 考えを数直線上に書きこんだり、言葉や式で表すなどした後、説明もメモしておく。 4 考えたことを班で伝え合う。良いと思った考えは全部班の考えとして、マナボードにまとめましょう。 5 班の考えを発表して、全員で学び合う ○それぞれの班のまなボードを見て、見方が同じものやちがうもので分類する。それぞれ代表が考え方を説明する。分からないものに質問したり、付け足したりして深め合う。 ○式に表わすとどうなるかを考える。	・考え方が分からない児童は、友だちの考えを自由に見に行くように伝える。 ・グループの手引きを見ながら、話し合いをさせる。
考察 2:05 まとめ 2:07	6 今日の学習から考えられる大切なことをまとめる。 ・16000は20000より4000小さい。→ $16000=20000-4000$ ・16000は10000と6000を合わせた数→ $10000+6000=16000$ ・16000は1000を16個集めた数→ $1000\times 16=16000$ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 数はいろいろな見方をすることができる。そして、数直線や式で表すことができる。 </div>	[考] 数の構成を基に、数の多様な見方について考え、表現している。(発表・ノート)
【終末】 振り返り 14:32 適用問題 14:	5 学習したことを振り返る。 6 適用問題に取り組む。(P,89 △9)	・キーワードを使って5行以上振り返りを書くように促す。



